

多摩川夢の桜街道

桜の札所・八十八ヵ所巡り



八十番札所・釜の淵公園

2010年 3月

美しい多摩川フォーラム

桜に願いを！ 夢を叶える

多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り

1. 美しい多摩川100年プランにおける『多摩川夢の桜街道プラン』の位置付け

美しい多摩川フォーラムでは、「美しい多摩づくり」を目指し、「経済」「環境」「教育文化」の3つの軸から、公民連携・協働推進による地域づくり運動を展開しており、その指針となるフォーラムの基本計画を「美しい多摩川100年プラン」と名付け、個人の役割、事業者の役割、行政の役割・責任を定め、進化・発展する計画として位置付けて実践しています。

とりわけ、人口減少時代を迎えつつある多摩地域においては、「地域経済の活性化と自立」が喫緊の課題であるとの認識のもと、対策として、多摩川の源流から河口までの「交流人口の増加」策が有効との考え方から、平成20年3月、『多摩川夢の桜街道プラン』を策定しました。これは、多摩川流域に点在する「桜」に着目してネットワーク化し、『多摩川夢の桜街道』というネーミングで観光ブランド化を図り、集客により賑わいを創出することで地域経済の振興に役立てようとするものです。

一方、この『多摩川夢の桜街道プラン』は、「経済」だけでなく、老木化した桜の維持・再生や地域一体となった桜守活動など、「環境」や「教育文化」にわたる部分も多いことから、同年4月に策定された「美しい多摩川100年プラン」では、シンボルプランに位置付けられています。

2. 『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』の事業化に向けて

(1) 多摩川流域の環境創造・地域づくりの象徴としての「桜」の活用

多摩川は山梨県甲州市塩山の笠取山頂上直下の水干（みずひ）の一滴を源として東京湾に注ぐ全長138kmの1級河川です。山梨、東京、神奈川の1都2県、30市区町村にまたがる流域周辺には、見事な桜並木や樹齢200年を越す古木の一本桜などが、意外に数多く存在しています。

江戸時代、1810年に建立された「小金井桜樹碑文」を読み解くと、桜の植栽の背景には、往来の人々の目を楽ませるだけでなく、その根は上水堤の崩壊を防ぎ、樹皮や花びらは川の水毒を解毒する効用があることが記されており、河川の水質保全や環境創造にとって、桜は重要な役割を果たしていたことが分かります。

そこで、美しい多摩川フォーラムでは、未来にわたって美しい多摩川を守り、地域を活性化していくための象徴として、多摩川水系周辺地域にある「桜」を活用していくことを考えました。



七十一番・福生多摩川堤防

(注) 美しい多摩川フォーラムによる「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り」事業は、多摩川流域の13自治体から構成されている多摩川流域都市協議会からの平成21年度受託調査事業である。

(2) 願いごとを携えて訪ねる『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り』のコンセプトの導入と情報発信

桜は欧州やアジアなど各国にあります。日本のようなスタイルでお花見をする習慣は外国にあまり例がないそうです。桜の語源には諸説ありますが、一説には、「さ」は「早苗」に由来して神様を表し、「くら」は神様が鎮座する場所を示し、桜には農耕の神様が宿っていると考えられました。このため、古くから桜の開花で稲の苗を植える時期に見当をつけ、散り方を見ては稲の豊凶を予測し、神に酒や食べ物を捧げて豊作を祈願したと伝えられています。

そこで、美しい多摩川フォーラムでは、このような花見のルーツにならい、願いごとを携えてめぐる巡礼のように、多摩川流域に点在する桜の名所を『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所』として選定し、願いごとを携えて桜を鑑賞する楽しみ方を提案しました。

また、この取り組みでは、単に桜の名所に足を運ぶだけではなく、周辺のスポットに立ち寄るコースも提案し、地域の皆様に多摩エリアの魅力の再発見を促し、観光面からの経済効果を狙っています。

このように『多摩川夢の桜街道プラン』では、八十八カ所の桜の札所を観光ルート化して交流人口を増やすとともに、賑わいの創出による観光振興を図ろうと考え、その情報発信手段として、平成21年3月に『多摩川夢の桜街道』の観光サイト（次ページを参照）を立ち上げました（<http://www.sakurakaido.jp>）。八十八カ所の桜の札所の基本的な情報だけでなく、桜を活用した地域づくりをしっかりと進めていくために、桜守による「桜の生育状況等の問題点」などの指摘もホームページ上で取り上げており、今後、民間と行政の広域連携・協働推進により、こうした問題解決にも積極的に取り組み、多摩川の桜ブランドとして、「100年プラン」の名称のように、息長く守り育てていきたいと考えています。

(3) 桜に願いを！夢を叶える『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り』のトライアル事業の実施

こうした状況下、『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り』をどのように事業化していくのが課題となりました。多摩川流域に点在する桜の札所を有機的に結び、桜の札所を介して観光客を誘導し、さらに、地域の桜の価値を再評価し、『多摩川夢の桜街道』を観光ブランド化していくシナリオです。真っ先に考えたのは、桜の札所まで足を運んでいただくためには、交通手段が不可欠です。そこで、多摩川に縁のある各鉄道会社との連携・協働事業化を考えました。桜の札所まで来ていただくには、鉄道の足の便が必要です。幸い殆どの鉄道会社が当フォーラムの法人会員であったため、連携・協働事業化を打診したところ、各社から、フォーラムの事業を通じた地域貢献策について一定のご評価をいただきました。

一方、多摩川流域で実施するに当たっては、バランスを考え、上流・中流・下流域の少なくとも3事業の実施が必要と考え、見応えのある「桜の札所巡り」のコースと連携する鉄道会社の組合せも慎重に検討しました。いずれにしても、それぞれの事業は、「多摩川夢の桜街道・開通記念事業」と位置付け、①既存事業の発展形、②行政等と連携した新規事業、③当フォーラム単独の新規事業、の3つのパターンで企画・実施しました。

以下、平成21年度に実施された3つのトライアル事業についてご紹介します。

(参考)「多摩川夢の桜街道」の観光サイトによる桜の札所・八十八カ所ガイド

多摩川夢の桜街道

美しい多摩川をたどって桜の札所を巡りましょう
八十八カ所 桜の札所巡り OPEN

多摩川「夢」の桜街道
清流守りて有し
美しさ桜心

★ 新着情報

New [09/02/23] 美しい多摩川
フォーラムでは、美しい多摩
づくりの象徴として、多摩川
流域にある桜の名所・八十
八カ所を選定し、このたび多
摩川夢の桜街道～八十八カ
所・桜の札所巡りとして公表
しました。楽しいとたずさ
えて桜の札所をぜひお訪ねく
ださい。桜の札所の各ページ
には、桜の写真の掲載コー
ナを用意していますので、ご自
身の桜の写真を事務局までお寄
せください。適宜掲載させて
いただきます。この多摩川夢
の桜街道は、皆さんが育てて

00011529

多摩川夢の桜街道ホームページは
****しています。

1 サイトマップ | リンク＆サブページ | 情報保護方針

- 多摩川 夢の桜街道とは?
- 八十八カ所 桜の札所巡り
- 語り部より「桜への想い」
- 桜の知識
- 多摩の桜守
- 美しい多摩川フォトコンテスト
- 多摩川流域観光情報
- みなさんの声をお聞かせください

大谷桜守から一言
多摩川流域には、桜の名所が数多くあり、桜の季節は、とても
きれいです。ただ、桜の咲く季節には、桜の木の腐
病が咲く心配があります。桜の保全にも注意が必要です。

■ アクセス
東急多摩川線「鶴の木駅」徒歩12分

■ 周辺情報
会社車場あり無料(土・日・休日のみ)
●六田観光協会 TEL:03-3734-0002

■ 周辺写真

六番 ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木

開放感たっぷりの桜堤は市民の憩いの場
講和桜の新りをつなぐ二十一世紀桜
水辺にはマンション建設の波が

場所	六田区 下丸子2-3-4丁目
地目	緑地(公園)
桜の本数	150本
桜の種類	染井吉野
周辺写真	写真はこちら
動画配信	なし
天気	天気予報はこちら
開花情報	開花情報はこちら
おすすめ	桜の 祭り イベント

高野 晴美

ガス橋緑地一帯に続く土手沿いの桜並木。並木の途中には3ヵ所の休憩所が設けられており、緑
の広場は開放感たっぷり。下流側の市民に親しまれている。

近年のガス橋上・下流側のスーパー堤防工事に伴い、約60本が植え替えられた一方、新たに
63本の染井吉野が二十一世紀桜と名付けられ、講和桜と平行して植樹された。高層マンション
とのコントラストが印象的。

3. 玉川上水散策と多摩川夢の桜街道（JR 東日本の「駅からハイキング」のお花見版）

平成21年4月3日(金)、美しい多摩川フォーラムでは、「多摩川夢の桜街道」開通記念イベントのひとつとして、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレールと共催し、桜の札所2カ所を巡る「駅からハイキング」を多摩地域で初めて実施いたしました。当日は天候に恵まれ、初の平日開催にも関わらず2,000人を超える方が参加され、大盛況となりました。

ハイキングコースの分岐点など15カ所には、周辺の地理に明るい青梅信用金庫の職員30名がボランティアの道案内役を務め、参加者の方から、「ガイドが丁寧で分かりやすく、安心して歩くことができた」とのエールを多数頂戴しました。

今回の「駅からハイキング」のコース(約7.5km)は、桜の札所である七十二番札所・羽村取水堰と玉川上水から七十一番札所・福生多摩川堤防を巡るルートで、車や人混みも少なく、美しい多摩川の自然と桜を満喫できる、当フォーラムとしても、自信を持ってお勧め出来るコースです。参加者の中には、「今まで何度も駅からハイキングに参加しているが、桜に満ちあふれ、こんなに素晴らしいコースは初めて」といった賛辞を下さる方がいらしたほか、「ぜひ来年も同じコースで開催してほしい」といった意見も多数、主催者側に寄せられました。

桜のもつ不思議なパワーにより、平日でも休日開催並みの人が集まるなど、今回のトライアル事業により、改めて「桜による観光まちづくり」の可能性を実感しました。なお、これを契機に、当フォーラムでは、『多摩川 夢の桜街道』の桜の札所の一覧マップと代表的な札所の写真を組合せた簡単なA3版1枚紙(表・裏)の資料を作成しました(次頁以降参照)。



七十二番・羽村取水堰と玉川上水



七十一番・福生多摩川堤防

駅からハイキングのチラシ

多摩川夢の桜街道

桜の札所・八十八ヵ所巡り



上流域エリア

- 74番 人里の枝垂れ桜
- 75番 龍珠院
- 76番 光巖寺
- 77番 広徳寺
- 78番 都立小峰公園
- 79番 塩田耕地堤
- 80番 釜の淵公園
- 81番 金剛寺
- 82番 梅岩寺
- 83番 海禅寺
- 84番 御岳溪谷
- 85番 奥多摩湖畔・大麦代
- 86番 三ツ子山
- 87番 丹波山溪谷・のめこい湯周辺
- 88番 一の瀬高原・金鷄寺

中流域南エリア

- 17番 ニケ領用水・宿河原
- 18番 生田緑地・枳形山
- 19番 よみうりランド
- 20番 三沢川桜並木
- 21番 稲城多摩川桜堤
- 22番 都立桜ヶ丘公園
- 23番 乞田川桜並木
- 24番 吉祥院
- 25番 川井家の枝垂れ桜
- 26番 富士見通り桜並木
- 27番 大栗川桜並木
- 28番 富士見台公園
- 29番 根川桜並木
- 30番 高幡不動尊(金剛寺)
- 31番 向川原堤緑道
- 32番 都立平山城址公園
- 33番 都立長沼公園・殿ヶ谷の道
- 34番 浅川河川広場周辺
- 35番 南浅川桜並木と都立陵南公園
- 36番 大光寺
- 37番 金南寺
- 38番 多摩森林科学園
- 39番 浄福寺
- 40番 創価大学
- 41番 都立滝山公園
- 42番 都立秋留台公園



美しい多摩川フォーラムは、美しい多摩づくりの象徴として、多摩川流域にある桜の名所八十八ヵ所

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 43番 多摩川土手沿い桜並木 | 54番 大國魂神社 | 65番 大学通り |
| 44番 西河原公園 | 55番 府中多摩川かぜの道 | 66番 さくら通り |
| 45番 多摩川住宅さくら通り | 56番 日立中央研究所庭園 | 67番 根川緑道と立川公園 |
| 46番 野川桜並木 | 57番 都立井の頭恩賜公園 | 68番 国営昭和記念公園 |
| 47番 都立神代植物公園 | 58番 都立小金井公園 | 69番 昭和公園 |
| 48番 都立野川公園 | 59番 玉川上水緑道 | 70番 くじら運動公園 |
| 49番 国際基督教大学 | 60番 狭山・境緑道 | 71番 福生多摩川堤防 |
| 50番 都立武蔵野公園 | 61番 都立狭山公園と多摩湖 | 72番 羽村取水堰と玉川上水 |
| 51番 野川沿いの紅枝垂れ桜 | 62番 野山北公園自転車道 | 73番 桜つつみ公園 |
| 52番 都営多磨霊園と南参道 | 63番 狭山池公園 | |
| 53番 府中桜通りと府中公園 | 64番 六道山公園 | |

中流域北エリア



下流域エリア

- | | |
|--------------------|-----------------|
| 1番 大師橋右岸堤防桜並木 | 10番 九品仏浄真寺 |
| 2番 等々力緑地 | 11番 等々力不動尊 |
| 3番 多摩川等々力土手桜並木 | 12番 多摩堤通り桜並木 |
| 4番 六郷橋緑地堤防桜並木 | 13番 馬事公苑 |
| 5番 池上本門寺・本門寺公園 | 14番 都立砦公園 |
| 6番 ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木 | 15番 妙法寺 |
| 7番 桜坂と六郷用水 | 16番 きたみふれあい広場周辺 |
| 8番 多摩川台公園 | |
| 9番 洗足池公園 | |

を選定し、多摩川夢の桜街道として紹介しています。

美しい多摩川フォーラム



一番・大師橋右岸堤防桜並木



六番・ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木



十七番・ニケ領用水・宿河原



十六番・富士見通り桜並木

経 済 多摩川夢

多摩川夢の桜街道

<http://www.sakurakaido.jp>

桜の札所・八十八カ所巡り



平成21年3月、「桜の札所・八十八カ所」を独自に選定するとともに、桜の札所巡りを提唱し、「交流人口の増加」による地域経済の活性化を目指しています。

地域経済の 美しい多摩の桜の街

「夢の桜街道」に人々が集ま
ビジネスが育ち、地域に活



八十番・釜の淵公園



七十一番・福生多摩川堤防



八十二番・梅岩寺



八十四番・御岳溪谷

夢の桜街道プラン

「多摩川夢の桜街道」開通記念イベント



青梅・奥多摩・あきる野の桜の礼拝巡り

桜守が病気の桜の見分け方・守り方、四季折々の桜の長方・楽しみ方を解説。

桜の名所を改めて知ることによって多摩エリアの魅力を再発見できる!



七十五番札所・龍珠院本堂内の自慢的な空間のなか、語り部・平野香子さんによる「源氏物語と桜への想い」に聞き入る。

活性化は、観光まちづくりから

来ることで賑わいが生まれ、力が生まれます。



七十二番・羽村取水堰と玉川上水



六十七番・根川緑道と立川公園



七十番・くじら運動公園



七十五番・龍珠院

八十五番・奥多摩湖畔・大妻代



八十三番・海禅寺



七十四番・人里の枝垂桜



三十九番・浄福寺



八十八番・一の瀬高原・金鶏寺

4. 多摩川夢の桜街道／大田の桜札所巡り（大田区、大田観光協会と連携した新規事業）

平成21年4月5日（日）、美しい多摩川フォーラムでは、『多摩川夢の桜街道』の開通を記念して、「大田の桜札所巡り」を大田区および大田観光協会と連携して開催しました。大田区内で選定された桜の札所6カ所のうち半分の3カ所（八番札所・多摩川台公園→七番札所・桜坂と六郷用水→六番札所・ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木）を巡るコースで、大田区報（3月11日号）の裏表紙1面を使って、「大田の桜札所めぐり」の特集記事が組まれ、参加者募集要項が掲載されたこともあって反響が大きく、応募者が殺到したことから、募集定員50人のところ何とか10人増枠して対応しました。

当日、参加者は、田園調布せせらぎ公園管理棟の会議室に集合し、桜の札所をご案内いただき、くにたち桜守の大谷和彦さんから、桜の見方・楽しみ方や桜の病気の見分け方などについて講義を受け、桜の札所巡りがスタートしました。多摩川八景として有名な「多摩川台公園」の桜木越しに、多摩川の雄大な眺望を楽しんだ後、近くを流れる「六郷用水」の遊歩道を散策しました。密蔵院の枝垂れ桜は実に見事です。近年、人気歌手の歌で有名になった「桜坂」にも立ち寄りました。最後は、多摩川の土手に上り、川面をわたる春風を受けながら、水辺の高層マンションとのコントラストが特徴的な「ガス橋緑地堤防二十一世紀桜並木」の散歩を楽しみました。大谷桜守の「桜でホッとするような地域づくり」のお話が大変印象的でした。



大田区報・平成21年3月11日号



六番・ガス橋緑地堤防
二十一世紀桜並木



七番・桜坂と六郷用水



八番・多摩川台公園



七番・桜坂と六郷用水
(密蔵院の枝垂れ桜)

5. 多摩川夢の桜街道／青梅・奥多摩・あきる野の桜の札所巡り（当フォーラム単独の新規事業）

平成21年4月11日(土)、美しい多摩川フォーラムでは、「多摩川夢の桜街道」の開通を記念して、バスハイクによる「青梅・奥多摩・あきる野の桜の札所巡り」を開催しました。好天のもと、どの札所も桜が満開でとても美しく、参加者(50人)の皆さんは桜の春をたっぷりと満喫されました。

はじめに、くにたち桜守の大谷和彦さんに、八十番札所・釜の淵公園、八十五番札所・奥多摩湖畔・大麦代の桜のガイドをしていただき、病気の桜の見分け方・守り方、そして開花時期だけでなく四季折々の桜の見方・楽しみ方を、桜守の立場から詳しく解説していただきました。

お昼の休憩を奥多摩湖畔の大麦代でとった後、奥多摩湖が一望出来る月夜見展望台に立ち寄り、遠くブルーの湖面に溶け込む桜林の美しい景色を堪能していただきました。



花の寺 七十五番・龍珠院



語り部
平野啓子さん



八十番・釜の淵公園の大谷桜守



八十五番・奥多摩湖畔・大麦代



龍珠院のしだれ桜

あきる野の里では、当日のメインイベントとして、語り部・平野啓子さんに、「源氏物語と桜への想い」を古寺の本堂にて語っていただきました。

語りの会場になった七十五番札所・龍珠院は、貞治二年(1363年)に開創された歴史のある寺院で、春は桜と三つ葉つつじ、菜の花に囲まれ、秋は鮮やかな紅葉と、いつも彩光に満ちあふれています。

霊威のある場所だったからか、平野さんの想いが周囲の桜にも通じたようで、平野さんの語りに合わせてかのように本堂前の庭に花吹雪が舞い、美しい語りをさらに引き立たせ、幻想的な空間を創り出していました。

多摩川夢の桜街道／あきる野の桜札所での語りを終えて

桜、つつじの饗宴の中で 「源氏物語～花の宴」



好きな色は何か、と聞かれたら、真っ先にピンクと答えます。身の回りの持ち物を取ってみても、手帳がショッキングピンク、スカーフがコスモスピンク、タオルハンカチがマジエンタ、と私にはピンク色のものが実に多いのです。そこから派生してオレンジや黄色、ラベンダー、紫などに目移りすることもあります、やはりピンクです。桜の時期がとても好きな理由のひとつは、大好きな色の花がそこそこに咲き現れるからと言っていいかもしれません。しかも種類によって濃淡あり、そのグラデーションたるや、なんともいえず心が浮き立ちます。そんな私の色の楽しみを、最高の形で呈してくれたのが、龍珠院でした。

花の寺とは聞いていました。また、写真で以前見たこともあります。けれど、それを目の当たりに見たときの感動といったらどうでしょう。まだ到着する前のずっと遠くから、薄いピンクの濃淡に混じって、私の大好きなショッキングピンクも見えます。ショッキングピンクが好きなわけは、学生時代、初めてお化粧をしたときに付けた口紅の色だったのです。その口紅を塗ると、さっぱりした童顔の私が、鏡の中でたちまち艶やかな「女」に変身し、不思議と自信がこみ上げてくるのでした。清楚と艶の両方の色色が、あきる野の山間の寺の境内に向かう坂道、その両側の斜面に至るまで、密に重なりあっています。ピンクの錦とでもいいでしょうか。しかも真昼の春の陽を受けて、目に沁みるほど鮮やかです。近づいていくにつれ、濃いピンクのほうは、「みつばつつじ」だということがわかりました。そしてこれまで漠然とショッキングピンクと外国名で呼んでいたその色には、「つつじ色」という和名があったのだということを思い出しました。桜色、桃色、なでしこ色、ばたん色…。ピンク系の和名の色には花の名前がついているものが多いのです。桜もつつじもあふれるほどの花盛りの門を通過したときの興奮といったら、「もう、いつ死んでも悔いはない」と思うほどでした。

お堂で「源氏物語」の「花の宴」を古文に現代文を交えてお届けいたします。お堂の南向きに面した側には縁側があり、そこからも先ほどの桜やつつじが今度は内側から、目の前に密集した花々を見せています。公演の直前に一瞬驚くほどの強風が吹き、お庭を見たら、境内いっぱいの空間に桜吹雪が舞っていました。境内にある一本の大きなしだれ桜も枝を揺らしていました。しばらく風の向くままに花びらの群舞が続き、こちら側に風が吹いたと思ったら、縁側や座敷に花びらがたくさん舞い込んできました。和尚様はあわてて自ら箒をお持ちになり、お客様のおもてなしに失礼だからと、桜を掃き集め始めました。けれども私は、縁側の花びらは残していただくようお願いしました。そこはお客様が足を踏み込まないし、今日の舞台を彩る大切な役割を果たしてくれるはずだからです。自然が造ってくれた演出です。和尚様は、なお、雨戸を閉めたほうが、私が集中して語りやすいのでは、と気遣ってくださいます。何でも、以前そういう出演者がいらしたそうです。けれど、私は、境内のこの桜を横目に見ながら聴いていただくことこそ、今日の公演の価値があると思い、ガラス戸のままにさせていただきました。こうして、自然の桜の舞台装置を得て、なんとも言えない春のひとつときを過ごすことができたのです。公演終了後、和尚様とフォーラムの方と私とでずいぶん長く縁側に座り込みいろいろな話をしましたが、和尚様が、最近の若者は「天国」という言葉を使うが、私は「極楽」という言葉をもっと使ってもらいたい、とおっしゃいました。

和尚様、、龍珠院に参るときも、公演中も、最後の懇談も、桜とつつじの饗宴の中で行われたそれは、「死んでも悔いはない」と思うほどの「極楽」でした。帰りには、和やかに話した縁側から奥様と立ったままずっと見えなくなるまで見送っていただきましたこと、今でも眼に焼きついています。ありがとうございました。

桜の語り部 平野 啓子



桜の語りは、今年も、そして来年も続きます。

6. 『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』事業の今後の発展に向けて

『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』事業の今後の展開について簡単に触れますと、「桜の札所巡り」事業に参加された方や美しい多摩川フォーラムの会員から一番要望が多いのは、「桜の札所・八十八ヵ所」に関する簡単な桜マップや解説書の作成です。特に年配者には、パソコンやインターネットの操作が苦手な方が多く、当フォーラムの観光サイトである「多摩川夢の桜街道」にアクセスして必要な情報等を取り出すことが出来ないことから、今後の事業展開を考えると、「桜の札所巡り」に携行できるような簡単な桜マップやパンフレット類の作成は必須であると言えます。こうしたPR資料を通じて、『多摩川夢の桜街道』の認知度が一段と上がり、「桜の札所巡り事業」がさらに拡大していくものと考えます。

次に、「交流人口の増加」に繋げていく『多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り』事業をPRしつつ、これを地域経済の活性化に結び付けていくためには、さらなる仕掛けが必要と考えています。そのためには、そもそも地域振興のシンボルとしての『多摩川夢の桜街道』のネーム・バリューを全国区レベルに引き上げる必要があります。そこで、桜による地域づくりに意欲的な多摩川流域の自治体と手を組み、地域の人々との連携・協働により、地域づくり運動の起爆剤となるような全国区レベルのチャリティー・コンサートを企画しており、目下、そのフィージビリティ・スタディーを行っています。音楽の中でも、「ボサノヴァ」は、癒やしと和みの音楽であり、「桜」による癒やしや和み効果の面で、類似性、親和性が高いことから、『多摩川夢の桜街道』にはピッタリの音楽で、迎えるアーティストによって、『多摩川夢の桜街道』が一段とポピュラリティを獲得していくとみられます。こうしたチャリティー・コンサートが、毎年、桜の季節に流域各地で開催されるようになればと期待しています。

このほか、『多摩川夢の桜街道プラン』では、①地域の桜を守り育て、環境と調和がとれた地域づくりに繋げていくため、地域の桜守や次代を担う子どもたちに、桜の札所の健康状態を観察してもらい、地域に情報を発信する仕組みとして「桜守学校」を設けていくほか、②桜による地域づくりのモデル事業として、「桜の植樹・維持再生事業」にも取り組みます。現在、企画している『多摩川夢の桜街道～ボサノヴァ・チャリティー・コンサート』では、環境と調和が取れた「桜」による地域づくりに向けた募金活動を行う予定であり、草の根の環境地域づくり活動もバックアップしていく予定です。

このように、当フォーラムでは、多摩地域の人口減少時代を展望し、『多摩川夢の桜街道』を通じて交流人口を増加させ、賑わいを創出することにより、地域に活力が生まれるように、今後も積極的に「美しい多摩」の実現に向けて、地域づくりに貢献してまいります。



六十七番・根川緑道と立川公園

平成21年3月19日
朝日新聞・朝刊

桜すくすくまで

春の訪れとともに花便りが届き始めた。気象庁は18日、東京でのソメイヨシノの開花予想日を年々よりの7日早い21日と発表。各地の公園などによる、多摩地域でも来週初めから半ばにかけて開花が相次ぎそうだ。満開となるのは開花から約1週間後だろう。

市民が選んだ88名所 「多摩川夢の桜街道」

多摩川流域の市民や団体などが、一般公募などで選んだ流石と作る「美しい多摩川」の桜の名所88カ所が決まった。観光サイト「多摩川夢の桜街道」(http://www.w.sakurakado.jp)が



●八十八カ所のひとつに選ばれた羽村市の羽村取水堰と玉川上水の桜。08年春撮影、美しい多摩川フォーラム提供。昭和記念公園にあるソメイヨシノの基準木。つぼみがふっくと赤みを帯び、開花予想日は26日から23日に変更された。18日

■多摩地域の桜の開花予想日(18日現在)

場所	開花予想日
井の頭恩賜公園(武蔵野市)	24日ごろ。早まる可能性も
小金井公園(小金井市)	23日ごろ
国営昭和記念公園(立川市、昭島市)	23日ごろ
滝山城跡・滝山自然公園(八王子市)	24日ごろ
奥多摩湖畔(奥多摩町)	4月初旬

開している。花の開花に合わせて、記念イベントとして、元NHKニュースキャスターの平野啓三さんが参加した桜巡りなどが開かれる予定だ。取り組みは、同フォーラムが地域の活性化と自立を目指した「美しい多摩川100年プラン」の一環。

「多摩川夢の桜街道」は、多摩川流域にある桜のスポットを結び、魅力の再発見につなげようという。下流域の川崎市から源流域の山梨県甲州市まで八十八カ所の桜の名所を、順いごとを携えて巡る

巡礼のように訪ねて楽しむと提案している。

名所の選定には一般からも場所を募集。その結果、1番川崎市多摩区の二ツ領せせらぎ館では「桜の札所・淡彩スケッチ原画展PART2」が開催される。

記念イベントの詳細や応募方法などについては同フォーラムのHP(http://www.fham-river.jp)が紹介している。問い合わせは、青梅信託地域貢献部のフォーラム事務局(0428・24・5633)。

平成21年3月27日
日本経済新聞・朝刊

東京・首都圏経済

流域連帯 金融マン奔走

一人の金融マンの地域おこしが多摩の地で花開こうとしている。「多摩川」を共有する地域に生きる人々や企業、自治体などの連帯を呼びかける「美しい多摩川フォーラム」活動。仕掛け人の宮坂不二生・青梅信用金庫地域貢献部長(57)は桜の季節を迎え、運動の行くと手こたえを感じている。

宮坂さんは元日銀マン。パウル経済崩壊後の九〇年代後半、大蔵省の業務停止命令で解雇された業種と銀行の破綻処理問題を担当。破綻前に頭取取替事件が起きるなど修羅場の日々を現地に張り付く一年以上のホテル暮らしで乗り切った。

多摩の断面

九八年には日経山形事務所長として赴任。この青梅信託に、リサーチの専門家として理解で地域おこし運動にめざめる。同じ県内でも山形は山形県によって歴史や文化を異にする。結果、多摩川で再現したい。束ねるには「最上川」を。森田界理(55)の肝いりで、〇七年片貝開を呼びかけた。青梅信託内に事務局を置く。三Eは英語の「ニヤク」多摩川フォーラムを設立した。山形銀行頭取が後援。運動に共鳴した多摩川や県、金融機関、企業、大学、商工団体、鉄道

桜名所結び観光ルート

電力、ガス会社など官民〇八年に策定。経済活性化の具体策として新観光地といわれる西多摩が地帯の観光に名前を運ぶ。会ルート「多摩川夢の桜街道」の青梅信託が地域おこしを推進する理由は、女子大生宮坂、副会長は宮坂さん。お茶の水女子大が助けて交流するルート。八十八カ所を公募などで選定。巡礼のように人々、ないが信託の命。多摩川フォーラムは新たな式を踏襲して三Eを柱とする活動方針。美しい多摩川100年プランを、武田建設社や大田区(編集委員 鈴木純)



桜の記念植樹には保育園児らも参加(多摩川上流の青梅市御岳)



「多摩川軸にまちおこし」(官民フォーラム)

東京

(資料2)「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」の2010年 春のイベント一覧

2009 年春、「多摩川夢の桜街道」開通記念イベントとして開催された3つの「桜の札所巡り」のトライアル事業は、「桜による観光まちづくり」に大きな力となることが明らかになったことから、2010 年春も、多少のアレンジを加え、「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」の一環として、以下の広報資料のとおり、事業の発展的な継続を決めました。

① 多摩川夢の桜街道と花と清水の街
羽村・福生を歩く(4月2日開催)

②大田の桜札所巡り～クイズラリー(3月22日～4月11日開催)
& 語り部・平野啓子氏による
五番札所・池上で聴く「美しき桜心の物語」(4月3日開催)



JR東日本・西武鉄道・多摩モノレール・
美しい多摩川フォーラム 共同開催
後援:羽村市、福生市



主催:大田観光協会
共催:美しい多摩川フォーラム
後援:大田区、京急電鉄、東急電鉄

③桜守と歩く・あきる野の里／桜の札所巡り
～広徳寺・光厳寺・龍珠院～
(4月10日開催)

④桜コンシェルジュ展
～くにたち桜守が案内する地域の桜～
(3月18日～4月8日開催)

美しい多摩川フォーラムでは、
「多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所」の
パネル写真を展示



共催:美しい多摩川フォーラム、リビング多摩



主催:国営昭和記念公園
共催:国立市、くにたち桜守
協力:美しい多摩川フォーラムほか

二宮金次郎 像(龍珠院)



相互扶助、積小為大の精神で地域づくりを!

多摩川夢の桜街道～桜の札所・八十八ヵ所巡り

事業報告書(2010年3月発行)

発行者 美しい多摩川フォーラム

責任編集 宮坂 不二生(美しい多摩川フォーラム事務局長)

〒198-8722 東京都青梅市勝沼三丁目65番地
青梅信用金庫 地域貢献部内

TEL : 0428-24-5632

FAX : 0428-24-4646

E-mail : forum@tama-river.jp

URL : <http://www.tama-river.jp>

<http://www.sakurakaido.jp>